



JAL不当解雇撤回ニュース

No400号 2014.09.03
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

8月29日 控訴するな! 不当解雇を撤回せよ! と 原告団 日航本社に緊急要請

8月28日に示されたJAL不当労働行為事件(行訴)の勝訴判決を受けて、翌29日、日航本社要請行動を行いました。



【写真】日航本社の受付フロアー(野村不動産天王洲ビルの2階)で「責任者」の対応を求める要請行動参加者(8月29日)

控訴するな! 不当解雇を撤回しろ! と宣伝行動

11:30 から日航本社前で宣伝行動。28日、東京地裁よりJAL 不当労働行為事件(行訴)の勝訴判決を踏まえ、日航は控訴するな! 不当解雇を撤回し 165 名全員を職場に戻せ! とマイクを手に訴えました。



2階の受付にて責任者の対応を求める

いつものように1階入り口で総務課の垣田氏が対応。「お預かりする」「上に伝える」の繰り返し。「今日はそれでは治まらない。両組合が文書で話し合いの申し入れをしているのだから、どう対応するのか返答せよ」と迫りました。同じ対応の繰り返しに抗議し、全員で2階受付前に進み、部屋を用意して責任者が対応するよう求めました。押し問答の末、2階受付横の衝立で仕切ったブースが用意され、「5人の代表者とお話する」として、会社より労務部客乗グループ担当の奥田氏と地上グループ担当の山口氏が応対。さすがに、CCU と日航乗組＝組合の申し入れは無視できなかったようです。

代表の要請に対し日航の労務は不遜な対応

支援共闘糸谷共同代表、CCU 古川委員長、日航乗組佐藤副書記長、原告団から清田、杉山両事務局長の5名の代表に絞り、要請行動を実施。

奥田、山口の両氏は原告団から名刺を渡そうとしても受け取りを拒否、名前を訪ねても答えないという不遜な対応。また原告が発言すると「組合と話しているのだから口を挟むな」という発言が飛び出すなど失礼極まりない対応。古川委員長から「原告も組合員です!」杉山事務局長から「解雇時は副委員長でした!」と抗議しましたが、地上グループの山口氏は「副委員長でしたか(笑)」と小馬鹿にするようなせせら笑いをするほど。この対応に代表団は嚴重に抗議しました(裏面に日航乗組とCCUが社長あてに提出した「謝罪」を求める要請文を掲載)。

日航労務:「窓口を通じて対応を連絡する」

代表団は、控訴するといった間違った判断をせず、都労委命令に従うこと、早急に自主解決に向けた話し合いの場を設けこと、この2点を申し入れました。

これに対し会社より、「窓口を通じて対応を連絡する」という対応でした。

日航乗組・CCU 要請行動での非礼な会社対応に謝罪を求める

9月3日、日航乗組とCCUは、8月29日の要請行動における非礼な会社対応に対し、植木社長あてに謝罪を求めて、以下の要請文を提出しました。

貴職の配下管理職への適切な指導および謝罪要請について

8月29日、不当解雇原告団およびその支援者と共に、貴職に対してのJFUおよびCCU連名での文書を提出に本社ビルへ参りました。その際、執行委員や原告団ばかりか、弊社のお客様でもある原告団の支援団体に対し、貴職配下の管理職より別添の通り不当、非礼極まりない対応がありました（具体的な行為については、別添）。これは非常識極まりない行為であり、労働組合、原告、その支援団体への冒瀆と言わざるを得ません。

今後のJALの発展の為に労使関係の安定を重視するならば、貴職から配下の管理職に対し、今後は非常識な行為を行わない様に適切な指導していただけるよう要請いたします。

あわせて、我々の組合員である原告団および、弊社お客様でもあるその支援者への非礼な対応に対し貴職の謝罪を要請します。

以上

別 添

本社要請行動の際の労務部奥田グループ長と山口マネージャーの非礼極まりない対応

2014年8月29日、不当解雇撤回裁判原告団およびJALの利用者でもある支援者と共に、JFUとCCU連名での申し入れ文書を提出に参りましたが、これまでと同様、本社1階の門前で総務部の垣田氏が「お預かりします」「上に伝えます」と対応されました。

しかし、管財人による不当労働行為が東京地裁でも認定された事実を鑑み真摯に対応するよう申し入れましたが、代表者5のみと話す人数を限った上、案内されたのは会議室ではなく、2FのWINGホール脇のパーティションで仕切られたスペースしか用意されませんでした。

奥田グループ長と山口マネージャーの態度・対応

(奥田グループ長)

- 原告団清田事務局長が差し出した名刺を受け取り拒否し、名前を尋ねられても答えない。
- 原告代表が発言しようとする、その発言を遮り「組合さんと話してるんですから」と発言。

(山口マネージャー)

- 原告団からの文書に対して「これは関係ない」と、テーブルに置いてあった文書を手で払う。
- 「組合と話してるんだ」と手で発言を制止する。
- 古川委員長(CCUC)が「原告も組合員です。なぜ話を聞いていただけないのですか」と発言し、原告団杉山事務局長が「私も首を切られる前は副委員長でした。」と発言すると、「副委員長でした、か。(笑)」と小馬鹿にし笑う。
- 「何がおかしいんですか。なぜ笑うんですか」と糾すと、「別に意味はありません」と開き直る。
- 弊社のお客様でもある、支援共闘会議共同代表の全国港湾糸谷委員長の「何を言っているのか」との抗議に対して、「何を言っているのかは、どっちだ!」と喧嘩腰の発言。
- 「今回の判決を受けて、会社として対応を検討中」との奥田GRP長発言に対し、佐藤副書記長(JFU)、古川委員長が「検討結果はいつごろ示していただけますか」と尋ねたところ、「なんで今あなた達に言わなきゃいけないのか」と発言

以上、文書を提出に本社へ行った際の顛末をここに記します。